

医療関係機関や、その廃棄物を取り扱うみなさまへ

# 新型コロナウイルスの廃棄物について

新型コロナウイルスに係る感染性廃棄物も

**他の感染性廃棄物と同様に処理可能です（※）。**

※「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」に沿って処理してください。



**消毒して再利用できるもの（リネン類など）はむやみに廃棄せず、廃棄物の減量化に心がけましょう**

新型コロナウイルスに感染した方・その疑いのある方が使用したリネン類については、他の感染症と同様の取扱いで問題ないと考えられますので、むやみに廃棄せず、これまで同様の感染症対策に準じた処理で対応してください。

手袋やマスクを着用して直接触れないように注意し、熱水による洗濯や、次亜塩素酸・アルコールによる消毒を行うなど通常どおり取り扱うようお願いします。

**感染性廃棄物は、その種類や性状に応じて適切な容器に梱包しましょう**

容器は、密閉できる、収納しやすい、損傷しにくいのものであって、感染性廃棄物の種類や性状に応じて適切な容器を選んでください。

①注射針、メス等の <b>鋭利なもの</b>	②血液等の液状または <b>泥状のもの</b>	③血液等が付着した <b>ガーゼ等再利用しないもの</b>
<b>耐貫通性</b> のある 堅牢な容器	漏洩しない <b>密閉容器</b>	<b>丈夫なプラ袋の二重使用</b> または、 <b>堅牢な容器</b>
		
例：プラスチック製容器		例：プラ袋（二重使用）／段ボール容器（内袋使用）

※ ①～③を一緒に梱包する場合は、耐貫通性、密閉性を併せ持つ、プラスチック製容器等を使用してください。

※ 詳細については自治体のルールに従ってください。



環境省公式HP



廃棄物処理法に  
基づく感染性廃棄物  
処理マニュアル(PDF)

# 新型コロナウイルスなどの感染症対策のためのご家庭でのごみの捨て方

## — 家庭ごみを出すときに心がける5つのこと —

### その1 ごみ袋は しっかり縛って 封をしましょう!

ごみが散乱せず、  
収集運搬作業において  
ごみ袋を運びやすく  
なります。



### その2 ごみ袋の 空気を抜いて 出しましょう!

収集運搬作業において  
ごみ袋を運びやすくし、  
収集車での破裂を  
防止できます。



### その3 生ごみは 水切りを しましょう!

ごみの量を  
減らすことが  
できます。



### その4 普段から ごみの減量を 心がけましょう!

購入した食品は食べきるなど、ごみを出さない  
ことも大切です。家庭での食事機会が増える中、  
料理を楽しみながら、できることがあります。  
環境省の「[食品ロスポータルサイト](#)」  
をご覧ください。▶▶▶



### その5 自治体の 分別・収集ルールを 確認しましょう!

粗大ごみの持ち込みを停止している場合や、  
資源物の分け方・出し方が  
普段と異なる場合などがあります。  
また、マスクなどごみのポイ捨ては  
絶対にやめましょう。



## 新型コロナウイルスなどの感染症の感染者又はその疑いのある方の使用済みマスク等の捨て方

新型コロナウイルスなどの感染症に感染した方やその疑いのある方がご家庭にいらっしゃる場合、  
鼻水等が付着したマスクやティッシュ等のごみを捨てる際は、以下のことを心がけてごみを出しましょう。

### ①ごみ箱にごみ袋をかぶせ、 いっぱいにならない ようにしましょう!

ごみは、いっぱいになる前に  
早めに出しましょう。



### ②ごみに直接接触することの ないよう、しっかり縛って 出しましょう!

ごみは、空気を抜いてから  
しっかり縛って出しましょう。  
万一、ごみが袋の外面に触れた  
場合や、袋が破れている場合は、  
ごみ袋を二重にしてください。



### ③ごみを捨てたあとは しっかり手を 洗いましょう!

石けんを使って、  
流水で  
手をよく  
洗いましょう。



以上の点に気を付けてごみを出していただくことが、ご家族にとっても、  
ごみを収集・処理する作業員にとっても、ごみの円滑・安全な収集・処理を行う上で大切な行動です。  
皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

